

上野商工会議所

UENO CHAMBER OF
COMMERCE AND INDUSTRY NEWS

ニュース



「忍者市駅」除幕式（2019年2月22日）
「ニンニンニン」の語呂合わせで「忍者の日」とされる2月22日、
伊賀鉄道に「忍者線」と「忍者市駅」が誕生しました。

今月のTopics

- 平成30年度通常議員総会開催…………… 2
- 平成31年度事業計画…………… 2,3
- 伊賀市活性化に向けての提言伊賀市へ要望の回答…… 5-7
- 伊賀市企業・事業承継促進事業補助金のお知らせ…… 10
- 三重県連共済増強キャンペーンのお知らせ…………… 15

2019.4

平成31年4月5日発行 第497号

発行所 上野商工会議所 〒518-0873 伊賀市上野丸之内500番地
TEL 0595-21-0527 FAX 0595-24-3857
発行人 専務理事 尾登 誠 URL <http://www.iga-ueno.or.jp/>
E-mail: info@iga-ueno.or.jp

平成30年度通常議員総会開催

～事業計画・収支予算承認される～

平成31年3月26日(火)、上野商工会議所ホールにおいて、通常議員総会を役員議員46名(委任状33名)が参加し、開催いたしました。議案第1号=平成30年度補正予算、議案第2・3号=平成31年度事業計画並びに各会計収支予算について、議案第4号=専務理事選任の同意についての議事は、すべて承認されました。

なお、席上で伊賀学検定上級合格者2名に合格証、役員議員永年勤続表彰者・職員永年勤続者に感謝状が授与されました。

●役員・議員永年勤続表彰者

会 頭 田山 雅敏 様
中外医薬生産株式会社(勤続30年)

●職員永年勤続表彰者

事務局長 佐治 篤史 (勤続30年)



～専務理事就任あいさつ～



尾登 誠

皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

去る3月26日開催の通常議員総会において選任され、この度専務理事に就任いたしました。

伊賀の産業界の状況は、厳しい地方経済情勢のもと、少子高齢化による労働力不足、将来の担い手となる人材の流出など、なお一層厳しい状況が続くと予想されます。

このような状況の中、地域経済の活性化のため、商工会議所の役割は益々重要であると認識しています。活力のある地域経済の推進のため、微力ではありますが全力で取り組む所存でございますので、格別のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

～退任あいさつ～



渡辺 将隆

皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたび、3月末日をもって退任いたしました。在任中は公私とも大変お世話になり、ありがとうございました。会員企業の皆様方の今後益々のご健勝と発展並びに伊賀地域の活性化をご祈念申し上げ、お礼のご挨拶とさせていただきます。

平成31年度事業計画

上野商工会議所は、地域経済団体としての役割を担い、地域を支える中小企業をはじめとする会員企業の活力強化と、伊賀市が進める「地方創生」の政策と相まって、地域経済活性化による地方再生への取り組みを進めてまいります。このため、引き続き、以下重点方針として事業を展開してまいります。

第一に、中小企業の人手不足に対応し、多様な人材の流入・定着を促進する事業を強化してまいります。

第二に、地域力強化のための産学官連携事業及びインフラ整備や観光振興事業を強化、展開してまいります。

第三に、相談支援体制を強化し、小規模事業者の生産性向上に資する支援や消費税率引上げ・軽減税率対策の支援事業を展開してまいります。

第四に、(株)まちづくり伊賀上野をはじめ、関係する各種団体と連携・協働し、中心市街地活性化に向けた事業を展開してまいります。

1. 地方創生推進及び中小企業経営力強化に向けた支援事業の強化

- (1) 県及び市が展開する地方創生総合戦略に呼応し、連携した事業を展開します。
- (2) 小規模事業者・中小企業に対する相談及び支援事業を強化します。
 - ①個別事業所の経営力向上のための支援機関として、「経営発達支援計画」の認定を取得し、事業所の経営力向上支援に取り組みます。
 - ②三重県中小企業・小規模企業振興条例に基づき地元企業の経営向上支援の強化を図ります。
 - ③中小企業経営力強化支援法に基づき、販路開拓等の専門相談及び海外進出の促進に向けてのセミナーや相談会を開催します。

2. 中小企業の人手不足に対応した支援及び後継者育成事業の強化

- (1) 新規学卒者の受入れや伊賀市への人材還流のための支援事業を強化します。
- (2) 後継者育成セミナー及び事業承継、創業支援事業等を強化し、優遇税制や補助金の活用を促進します。
- (3) 企業人材の能力、技術の向上を目的に教育セミナー、検定試験の実施など資格取得のための事業の充実を図ります。
- (4) 働き方改革の推進のため、企業の生産性向上及び事業の効率化を支援します。

3. 中心市街地活性化及び観光振興の推進

- (1) 伊賀市中心市街地活性化のため、第二次基本計画策定に向けて取り組みます。
- (2) 市民夏のにぎわいフェスタや上野天神祭等のイベントを通じて、中心市街地での市民の交流、賑わいづくりや街づくり事業に取り組みます。
- (3) 伊賀の歴史的、文化的な地域発信の拠点となる旧市役所跡の利活用を推進し、集客及びおもてなし支援事業を展開します。
- (4) 上野天神宮を核とした周辺商店街活性化、賑わいの創出に取り組みます。
- (5) グローバルな忍者研究拠点「国際忍者研究センター」等と連携し、中心市街地の

活性化、観光振興に取り組みます。

- (6) (株)まちづくり伊賀上野及び関係する各種団体との連携を強化し、中心市街地及び商店街活性化事業を推進します。

4. 産学官連携及び農商工連携の推進

- (1) 産学官連携事業として、三重大学伊賀研究拠点、伊賀連携フィールド、国際忍者研究センターと連携して地域課題の解決に向けた取り組みを進めます。
- (2) 農商工連携を通じて、地場製品の販売力の強化及び拡大に向けた取り組みを支援します。

5. 国、県及び市への政策提言・要望活動の推進

地方への好循環拡大に向けた地域活性化対策を関係機関に働きかけ、地域の産業振興や観光振興及び街づくり等への諸施策について、政策提言・要望活動を実施します。

6. コミュニティ情報プラザ活用事業の展開

- (1) 会員企業にご利用いただきやすい「会議室」「産業、商品展示コーナー等情報スペース」「パソコン等の情報機器の活用」など様々なニーズに対応し、会員サービス機能を充実します。
- (2) 会員をはじめ市民の皆様が利用できるフロアとしての機能を充実させるとともに会議室やホール等を活用した企業PR、展示・販売事業、観光PR、市民講座等、多様な事業での活用を推進します。

7. 商工会議所の運営及びサービス機能の強化

- (1) 会議所財政基盤の強化を図り、適正な運営に取り組みます。
- (2) 会員訪問を強化し、会員ニーズの把握に努め、会員サービスの充実を図ります。
- (3) 会議所ニュースやホームページの内容を充実し、情報をわかりやすくスピーディに伝えるため、発信機能の強化を図ります。
- (4) 伊賀市商工会との連携強化、県内商工会議所との広域連携事業の推進に努めます。

2019年度上野商工会議所経費収支予算総括表

◎収入の部

(単位千円)

科 目	金 額	説 明	前年度額
1 会 費	33,783	普通会費24,043 特別会費9,740	33,273
2 運 営 協 力 金	3,090	運営協力金3,090	0
3 交 付 金	39,717	会議所一般事業関係(市) 2,050 小規模事業関係(県) 32,827 中小企業相談所事務負担金(市) 4,000 その他補助・委託料840	39,668
4 地域活性化関係補助金	3,000	活性化会計3,000	2,850
5 事 業 収 入	39,482	一般会計12,000 プラザ会計890 中小企業相談所会計810 共済会計15,773 共済会計(特退) 1,559 活性化会計1,600 労保事務組合会計4,550 庁舎会計2,300	38,502
6 施設利用料収入	13,766	庁舎会計8,339 プラザ会計5,427	14,914
7 特 商 負 担 金	1,400	特商会計1,400	1,400
8 庁 舎 積 立 取 崩 金	2,202	庁舎会計1,202 プラザ会計1,000	2,202
9 財 調 積 立 金 取 崩 収 入	0	一般会計0	0
10 雑 収 入	156	一般会計101 庁舎会計1 プラザ会計1 中小企業相談所会計50 共済会計1 共済会計(特退) 1 活性化会計1	772
11 繰 越 金	18,165	一般会計18,165 プラザ会計0 共済会計0	17,651
総 計	154,761		151,232

◎支出の部

(単位千円)

科 目	金 額	説 明	前年度額
1 事 業 費	28,888	一般会計16,568 プラザ会計1,000 中小企業相談所会計570 共済会計800 活性化会計7,450 庁舎会計2,500	29,116
2 給 与 費	55,116	一般会計10,876 プラザ会計1,146 特商会計1,926 中小企業相談所会計34,283 共済会計4,989 労保事務組合会計1,896	53,267
3 福 利 厚 生 費	8,565	一般会計1,974 プラザ会計11 特商会計303 中小企業相談所会計5,232 共済会計750 労保事務組合会計295	8,445
4 会 議 費	1,420	一般会計1,400 共済会計20	896
5 調 査 広 報 費	4,500	一般会計4,500	4,043
6 旅 費 交 通 費	780	一般会計500 中小企業相談所会計250 共済会計20 労保事務組合会計10	713
7 什 器 備 品 費	710	一般会計600 庁舎会計30 共済会計50 共済会計(特退) 30	1,091
8 事 務 費	5,774	一般会計3,600 庁舎会計50 プラザ会計150 特商会計150 中小企業相談所会計360 共済会計735 共済会計(特退) 270 労保事務組合会計459	5,403
9 渉 外 費	200	一般会計200	172
10 公 課 分 担 金	4,500	一般会計4,500	4,460
11 庁 舎 維 持 管 理 費	17,695	庁舎会計12,737 プラザ会計4,958	17,695
12 見 舞 金 等 給 付 金	500	共済会計500	456
13 退 職 給 与 積 立 金	4,051	一般会計1,495 中小企業相談所会計2,215 共済会計341	3,967
14 雑 支 出	338	一般会計100 庁舎会計125 プラザ会計53 中小企業相談所会計50 共済会計5 労保事務組合会計5	326
15 別 途 積 立 金	3,000	一般会計3,000	3,000
16 予 備 費	18,724	一般会計18,305 庁舎会計10 共済会計324 労保事務組合会計85	18,182
総 計	154,761		151,232

伊賀市活性化に向けての提言

平成31年度予算等に関する要望の回答

平成30年12月3日付で伊賀市長に提出しました「伊賀市活性化に向けての提言 平成31年度予算等に関する要望」について、平成31年2月18日付で回答がありました。3月号に続き、掲載いたします。

③街なか賑わいイベント等への支援拡充

- ・市民夏のにぎわいフェスタ、市民花火大会、灯りの城下町事業等

〈回答〉街なか賑わいイベントについては、単に事業を実施するだけでなく、事業を実施することにより商業等の活性化につなげるのが重要と考えますので、事業実施の際は、綿密な事業計画と具体的な目標をもって実施いただきたいと思います。

なお、支援の拡充は、市の財政状況から困難ですが、事業者の需要に照らし合わせ、予算の枠組みの変更等、現行制度の見直しにより限られた財源をより効果的に活用できるよう貴所とともに検討していきたいと考えます。（商工労働課）

④現市庁舎の総合的な利活用の推進

ア 商工業発展のため観光及び物産機能の設置

イ 図書館等、市民憩いの場、先進トイレの設置

〈回答〉伊賀市南庁舎については、庁舎機能移転後における伊賀市の賑わい創出拠点とすべく、要望いただいた観光、物産機能、図書館、市民憩いの場、使いやすいトイレ等も含め、早急に機能を確定し、設計、改修工事へと進めていきたいと考えています。（中心市街地推進課）

2 観光立市に向けた観光振興の促進

(1)ユネスコ無形文化遺産に登録された「上野天神祭のダンジリ行事」による更なる観光推進の強化

- ・市をあげての天神祭事業として運営体制の刷新及び支援の創設

〈回答〉天神祭ダンジリ行事のユネスコ無形文化遺産登録により、更に行事の価値が上がり、当市にとっても市民にとっても将来に継承していくべき文化財産として益々大切な行事となりました。上野文化美術保存会や上野天神祭地域振興実行委員会を始め関係する団体や組織、市民それぞれが保存継承していく必要とそれぞれが担う役割をしっかりと認識し、市民の財産であることに誇りを持って継承してきた結果であり、そこに大きな意義があるものと考えます。今後も本行事が行政主催の一行事ではなく、市民を巻き込み民間団体との連携協力を行うことにより、市民が主体となった行事として継承されていくよう情報の共有や支援を行ってまいります。また、当市では、文化美術の保存・継承を行うという視点から、主体である上野文化美術保存会に対し、運営面の支援だけではなく、情報発信や団体の組織強化、育成にも活用いただけるよう、上野天神祭のダンジリ行事継承事業交付金を、また文化財の保存のため改修などにかかる費用の補助金として文化財保護事業補助金を交付させていただき、より良い行事の運営となるよう支援を行ってまいります。（文化交流課）

当市では「上野天神祭のダンジリ行事」の情報発信について取り組みを強化したいと考えており、平成30年度は近鉄大阪難波駅、大阪上本町、近鉄名古屋駅構内にてデジタルサイネージによる情報発信を行いました。また、着地型観光事業「伊賀ぶらり体験博覧会いがぶら」において上野天神祭をガイド付き観覧席でおよばれ気分楽しんでいただく特別プログラムの造成を図りました。さらに、上野天神祭地域振興実行委員会において作成いただく上野天神まつりのポスターが

直前にしか作成されないことから、年中を通してPRできるポスターの作成を進めています。また、旅行会社などにもツアー化に向けた情報提供を積極的に行っていきたいと考えています。

運営体制については今後、外国人観光客も視野に入れながら受け入れ体制を強化していく必要があると認識しています。上野天神祭地域振興実行委員会の構成団体のみならず、市内企業、高校、NPO、住民自治協議会などあらゆる主体が運営に関わっていくことで「世界に誇れる市民の祭」という意識が芽生えてくるのではないかと思います。こういった体制づくりについて貴所とともに取り組んでまいりたいと存じます。（観光戦略課）

(2)観光客受け入れ施設等の拡充

①現市庁舎跡における観光及び物産機能の設置

〈回答〉伊賀市南庁舎の利活用検討として、観光・物産機能は賑わい創出に欠かせない機能であると考えています。既存の機能との調整も踏まえ、導入に向けた検討を進めていきたいと考えています。（中心市街地推進課）

②魅力的な新芭蕉翁記念館及び芭蕉ゾーンの実現

〈回答〉新芭蕉翁記念館の整備につきましては、賑わい創出事業の進捗を踏まえ、街なかへの回遊につながり、賑わい創出に貢献できるよう施設の整備に向け取り組んでいきます。

現在、芭蕉翁生家の耐震等を含めた改修に着手しているところであり、芭蕉翁関連施設として、市民を始め地域学習の児童生徒、観光客や芭蕉研究者など幅広く多くの方々に関心を持っていただき、気軽に足を運んでいただき易い施設となるよう、これまで以上に知恵を絞って、展示等も工夫していきたいと考えています。

周辺の地域や施設等と連携した芭蕉ゾーンについても積極的に検討していきます。（文化交流課）

③外国人を含む観光客向けの案内板など、おもてなし受入れ環境（駐車場等）の整備

〈回答〉近年、当市には多くの外国人観光客が訪れており、これら外国人観光客がストレスなく快適に伊賀の観光を満喫していただくため、滞在時の快適性が求められています。しかしながら現状では外国人観光客のみならず、国内観光客向けの案内板、まちなか誘導標識等の整備も十分とはいえない状況です。

一部の説明板や道標については、日本遺産忍びの里サイン整備事業で設置を予定していますが、その他の案内板等については現市庁舎跡地の総合的な活用計画の策定後、伊賀市公共サイン整備ガイドラインに基づいて整備を進めていきたいと考えています。また、今後、AIを活用した多言語に対応できる案内機能整備について検討をしていきます。

また、街なかの駐車場やトイレなど観光客を受け入れる環境の整備については、一部のトイレにつきましては平成29年度において洋式化など利便性の向上に資する整備を行ったところですが、まだ十分とはいえないと認識しています。整備にあたっては用地の確保や設置後の維持管理などが課題となります。については観光客を受け入れるにはどこに駐車場やトイレがあると望ましいのかといった課題を民間団体の皆様と共有したいと思います。また、トイレについては新たに設置

するだけでなく民間事業者の方々が観光客に提供して頂ける体制づくりをお願いできればと思います。(観光戦略課)

3 社会基盤の整備

(1)社会基盤の整備

①渋滞緩和及び交通安全施設の整備

ア 国道368号線の早期4車線化による渋滞緩和及び安全確保

〈回答〉 国道368号4車線化事業は三重県が施工しています。平成28年3月2日に菖蒲池2交差点から山出交差点間の約1.6kmを4車線で部分供用しました。今後、山出交差点から上野インターチェンジ間の整備を進めていきます。また、平成28年度から木津川にかかる現在の内橋の下流に新たに設置する橋梁の橋脚工事に着手しています。

今後も関係市と協力して、上野・名張間の全線早期4車線化に向けた要望を三重県に行っていきます。

(建設部 企画管理課)

イ 丸之内交差点、ハイトピア前及び銀座通りのスムーズな通行の整備

〈回答〉 昨年度もお願いしましたとおり、丸之内交差点は、信号機と伊賀鉄道の踏切の信号機があることから、一時渋滞が発生しており、その解消について、伊賀警察署に確認しましたが、現状の交通信号機と踏切の信号機との連動調整は不可能であるとのことでしたのでご理解いただきますようお願いいたします。

(建設部 企画管理課)

ウ 新市庁舎及び伊賀鉄道四十九駅の開設に伴う交通量増加を見据えた幹線道路、安全対策の整備

〈回答〉 新庁舎移転及び伊賀鉄道新駅開設に伴う周辺道路の安全対策について、国土交通省北勢国道事務所、三重県伊賀建設事務所、伊賀警察署及び伊賀市の四者で昨年度から定期的に協議を行い、周辺道路の状況について検証を行った結果、名阪国道友生インターチェンジ下りオフランプに左折レーンを設けたほか、県道上野大山田線のゆめが丘北口交差点に右折の矢印信号を追加するなどの対処を行い、交通の円滑化を図っていただきました。今後も交通量などを見ながら信号の連動調整を行っていただくことになっております。

また、3月からは市役所南側の交差点において、三重県が主体となって円形交差点であるラウンドアバウトを試験的に導入することとなっています。(建設部 企画管理課)

新庁舎開庁に合わせ、市道の整備として、新庁舎に隣接する歩道舗装の打ち替え及び、庁舎周辺道路の外側線、センターライン等の路面表示の描き直しを行い、新庁舎からハローワーク前を通り、四十九駅周辺の道路に照明灯11基の設置を行いました。

また、新庁舎への案内標識の新設11件と、表記の変更10件をほぼ完了しています。

今後、市道守田四十九町線について、一部道路幅員が狭隘で特にカーブ部分の見通しの悪い箇所において部分拡幅を行う予定です。また、新庁舎から四十九駅までの動線において、歩行者が通行するのみに狭く危険な箇所について側溝に蓋を設置する等の路肩整備を行っていきます。(道路河川課)

②近鉄伊賀神戸駅前開発の促進

・ロータリーの設置、車両の待機場所の確保等

〈回答〉 地元住民自治協議会からも要望をいただいています。伊賀神戸駅周辺道路の渋滞緩和対策として、平成28年12月に近隣の民有地を借り上げ、民間企業の従業員送迎用のバスの転回及び待機場所の確保を行っていましたが、現在は賃貸借契約を解除しております。

また、昨年度も回答させていただきましたが、ロータリーの設置については、近隣土地所有者のご理解を得るに至っておりませんので、現時点では難しいと考えております。

(都市計画課)

民間企業の従業員送迎用のバスの転回及び待機場所の確保については、ゆめぼりす伊賀立地企業連絡会からも要望をいただいております。当課としましても建設部など関係部課と検討していきたいと考えています。(商工労働課)

③環境保全のための残土処分場の確保

・自然環境を保全するため建設工事での発生残土を適正に処分する施設の確保

〈回答〉 残土を処分する施設の確保を市で行うことは難しいですが、本市では、「伊賀市土砂等の埋立て等による土壌汚染及び災害の発生の防止に関する条例」を制定し、昨年7月1日から施行しました。

この条例は、市外から持ち込まれる残土を対象とし、市、市民、事業者、及び土地の所有者の責務を明らかにして、埋立て等を行う事業者に対して必要な規制を行うことにより、土壌汚染の防止と土砂等の流出による災害の発生の防止を図ることを目的としており、残土が適正に処分されるよう監視・指導していきます。(環境政策課)

④安全で快適な生活を実現するため、市街地の下水道インフラの整備

〈回答〉 本市の下水道整備は、平成28年5月に策定した「伊賀市生活排水処理施設整備計画」に基づき、整備を計画的に進めてまいりたいと考えています。

特に市街地の下水道整備においては、事業期間が長期にわたるため、事業効果の早期発現を図るために、全体の終末処理場とは別に暫定の処理場を設け、早期供用を図るフレックスプランという手法の導入も検討しております。

事業を進めていく上では、受益となる方々の大多数の理解と賛同がなければ事業化できませんので、現在、対象となる住民自治協議会や自治会へ出向き、地域の方々との懇談を通して、市の下水道整備に対する考え方を説明させていただき、事業化への理解を深めていただくよう努めているところです。

今後、市のホームページや広報等を活用して、下水道事業の必要性和効果など、様々な情報を伝えたいと考えており、当面して整備区域の家庭を対象として事業啓発パンフレットの配布を計画しています。(上下水道部 下水道課)

(2)将来への交通基盤の整備計画の策定

①JR関西線伊賀上野駅・柘植駅間の電化促進、及び伊賀鉄道と連動した交通システムの整備

〈回答〉 伊賀上野駅・柘植駅間の電化、更には、伊賀鉄道との連携を強化した上野市駅までの運行については、インバウンドを含めた京都方面からの誘客のため、整備実現は重要と考えています。

しかし、JRは、現段階では関西本線全体としてどのような絵を描いていくかが重要と考えているとのことで、整備の早期実現は難しいと考えられます。

また、本市としては、電化をはじめとする利便性の向上には、まずは利用者数の増加が必要であると考えており、JRとの意見交換等を通じて連携・協力し、積極的に利用促進活動を実施したいと考えています。(交通政策課)

②名阪国道と新名神高速道路、更に名神高速道路との連絡道の整備促進

〈回答〉 名阪国道と新名神高速道路、更に名神高速道路との連絡道の整備につきましては、沿線自治体である8市町と貴会議所を含む11団体で構成している「名神名阪連絡道路整備促進期成同盟会」により毎年関係機関へ事業化の推進の要望を行っているところです。

平成25年7月には、「名神名阪連絡道路の早期実現に向けたシンポジウム」を甲賀市で開催。さらに、平成28年1月には、東京都内で「名神名阪連絡道路建設促進大会」を開催し、同盟会構成市町の首長や議長、来賓として三重県・滋賀県選

出の国会議員や三重県知事、滋賀県副知事の出席を受け、この道路の重要性と地域の熱意を発信してきました。

また、平成29年1月28日には、市内（ふるさと会館いが）で「第2回名神名阪連絡道路シンポジウム」を開催いたしました。このシンポジウムには約600人が参加し、沿線自治体や企業等の関係者が、この道路の効果や整備に向けた期待などを討論し、名神名阪連絡道路の整備に向けた機運を盛り上げ、地域が丸となって国に対し要望を実施していくことを決意いたしました。

昨年の平成30年7月22日には貴所にもお世話をおかけしましたが、甲賀市で第3回シンポジウムも開催し、約800人の方にお越しいただき、さらに機運を高めました。この道路整備は、地域交通網の改善と企業の誘致、ひいては地域の強靱化に繋がるものと考えており、今後も強く要望などを行っていきますので、引き続き貴所の強力なご支援をよろしく願います。（建設部 企画管理課）

③リニア中央新幹線の建設を見据え、既存交通網の整備調査
〈回答〉 リニア中央新幹線の名古屋・大阪間は、ルートや停車駅の設置について、未だに公表されていない状況であります。

当市としては、まずは、リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会の一員として、名古屋・大阪間の三重・奈良ルートの実現、県内の概略ルート及び停車駅の概略位置を早期に公表するようお願いすると共に、停車駅位置については、鉄道や高速道路によるアクセス利便性等を十分に勘案するよう要望していきたく考えています。（交通政策課）

③公共交通ネットワークの充実

①郊外並びに他の地域から市街地へのアクセス、利便性を考慮したバス運行システムの構築

〈回答〉 鉄道やバス、タクシー等といった地域公共交通には、それぞれの機能、役割があり、お互いが補い合いながら地域公共交通のネットワークを構築しています。当市では、それぞれの特性を踏まえた連携を強化し、地域住民の生活行動に応じた効率的な運行体系の見直し及びネットワークの構築を進めたいと考えています。（交通政策課）

②市庁舎の移転に伴う市街地とのアクセス及び周辺道路網の整備等利便性の向上

〈回答〉 庁舎と中心市街地のアクセスについては、すでに整備済みの伊賀上野橋新都市線（銀座通り）のほか、現在、旧大関食堂前から伊賀白鳳高校に続く服部橋新都市線の事業を三重県において進めていただいております。服部橋新都市線は2024年（平成36年）を目標に事業が進められており、現在は順次用地買収を行っています。この都市計画街路については、延長600m、幅員9mのセンターラインのある車道の両側に3.5mの歩道を整備する予定です。（建設部 企画管理課）

道路網の整備については平成26年度に市道四十九下友生線の道路改良工事を終え、現在、三重県が実施している伊賀上野橋新都市線の道路拡幅や、市道西明寺緑ヶ丘線の道路改良について事業進捗を計りたいと考えています。（道路河川課）

4 公共工事発注制度及び許認可等の改善

(1)地元事業所が参入しやすい発注方式の推進

①大型案件の分離・分割発注方式の早期実施

〈回答〉 既に実施しています。分割発注については条件を精査し、可能なものについて引き続き取り組んでいきます。

（契約監理課）

②発注基準の選定業者数の見直し

〈回答〉 地域を限定して少ない業者数で入札することは、第三者から見たときに、競争性の確保について疑念を招く恐れがあります。より高い透明性・公平性を担保するためには、現状の選定業者数が妥当であり、今のところ見直す必要はないと考えています。

（契約監理課）

(2)大規模案件における市外業者単独受注の防止

①全ての工事（建築・土木・電気設備・機械設備）において地元事業所とのJVを入札の条件

〈回答〉 既に地元業者の育成を目的に、工事案件毎に条件を精査してJVを条件とした発注を行っており、今後も引き続き取り組んでいきます。

（契約監理課）

②設計・監理業務の発注基準においては、参加可能ではなく、地元事業所が受注し易い要件の設定

〈回答〉 既に設計及び工事監理業務の発注に際しても、地元業者の育成を目的にJVでの発注を行っており、今後も引き続き取り組んでいきます。

（契約監理課）

(3)一般廃棄物取扱い業者の許認可等を含めた状況の改善

・空き家対策等で建物の解体工事の際、家具等一般廃棄物の取扱い業者が少ないため、工事に支障が発生

〈回答〉 当市では、許可業者が収集運搬業務の依頼を請け負えないなどの具体事案の通報はないことから、現行の体制で適正な処理を継続的かつ安定的に確保することができると判断しています。許可業者から収集運搬業務を拒まれる事案があった場合は、当課へご連絡下さい。（廃棄物対策課）

5 中小企業・小規模企業振興事業費補助及び商店街活性化等の事業補助金等の拡充

(1)中小企業相談業務負担金

(2)商工会議所事業補助金

(3)中心市街地等商店街活性化事業費補助金等の事業支援及び助成の拡充

(4)IT（情報）関連補助金の推進

〈回答〉 当市の財政状況から助成の拡充は困難ですが、予算の枠組みの変更等により、限られた財源をより効果的に活用できるよう貴所とともに支援策を検討していきたく考えます。また、国や県においても様々な支援策が講じられておりますので、貴所におかれましても事業者等に対し積極的な情報提供をお願いします。

（商工労働課）

地元の事業者の強い味方! 「商工会議所・商工会」連携ローン

地域活性化ローン「**糸半**」

Face
to
Face

最高
500万円

担保不要

第三者
保証人不要

詳しくは、お近くの窓口まで
お問い合わせ下さい。



北伊勢上野信用金庫

業務部 059-354-9971

<http://www.kitaiseueno-shinkin.jp/>

栄えある受賞おめでとうございます

文化庁長官表彰



伊賀傘商工業協同組合 理事長

やお こうすけ
八尾 光祐 氏

全国山・鉾・屋台保存連合会理事永年にわたり、関係団体の要職を務め、全国の山・鉾・屋台及びその行事の保存・伝承に尽力した功績で表彰されました。おめでとうございます。

会議所の動き

インターンシップ反省会 3月5日(火)

管内高等学校インターンシップ担当者・管内企業労働担当者による「高等学校インターンシップ反省会」を上野フレックスホテルにて開催致しました。

インターンシップは高校生が在学中に自らの学習内容や将来の進路などに関連した就業体験を行うことで、学校から就労段階への円滑な移行が出来るように、社会勉強の一環として求められるようになりました。

また、企業側としてはインターンシップを通じ、優秀な人材確保や、適性判断につながることで、高等学校との連携を図る機会を創出することが出来ます。

当日は学校・企業関係者なども合わせ37名が参加され、伊賀の将来を担う若者の地元就職及び職場定着を

促進し、ひいては地域産業に必要とされる労働力確保につなげるため、活発な情報交流をされました。



インターンシップ事例発表を行う出席者

建設業部会 視察研修 3月9日(土)

建設業部会で、建築界のノーベル賞とも言われるプリツカー賞を受賞している建築家 安藤忠雄氏が手がけた建築物を視察いたしました。

兵庫県淡路島にある「淡路夢舞台」は、元々は土砂採掘地だった荒れた土地に自然を蘇らせるという想いで建設されました。淡路島国営明石海峡公園、国際会議場、ホテル、プロムナードガーデン、野外劇場などの施設からなる、巨大なランドスケープに溶け込む複合文化リゾート施設で、兵庫県が進める「淡路島国際公園都市」の中核施設でもあり、安藤忠雄氏らしい、



視察研修に参加の建設業部会員のみなさん

打ちっばなしのコンクリートをふんだんに使い、四季折々の草木や花々とも調和する建築物をたくさん見学させていただきました。

その中の一部「フォーラム」は打ちっばなしのコンクリート壁が美しく、下から見上げた時に円形・楕円形に切り取られた空の空間を利用し、内側に設けられたスロープを移動していくことで、刻々と変わる光と陰の美しさを感じられる空間。

「海の教会」は実際に結婚式を挙げることができる地下にある教会で、天井に十字形のスリットを入れ、教会の壁に十字架の光を浮かび上がらせた神秘的な空間。

「百段苑」は山の斜面を利用して作られた100の花壇。階段状になっており、いろいろな角度から花と建築デザイン的美しさを体験できる空間。

美術的要素からも非常に価値ある建築物の魅力溢れる安藤ワールドを視察させていただきいた後、淡路・神戸市内を散策し、参加者一同、大変充実した視察研修となりました。

伊賀学検定 上級合格者表彰式 3月26日(火)

通常総会会場において、第14回伊賀学検定（平成31年2月17日実施）の上級合格者の表彰式が執り行われ、当日出席いただいた松原進様と山田登美子様が田山会頭より合格証を授与されました。

今回の合格者数は、初級が107名（合格率97.3%）、中級が16名（合格率100%）、上級が6名（合格率31.6%）となりました。合格者の皆様おめでとうございます。

初級合格の方は中級、中級合格の方は上級が、次回の検定より受験可能となります。ぜひ上級合格を目指してみてください。



会頭より表彰をうけた上級合格者のお2人

女性会だより

三重県商工会議所女性会連合会平成30年度第2回理事会に参加 3月19日(火)



三重県商工会議所女性会連合会理事会の様子

三重県商工会議所女性会連合会平成30年度第2回理事会があんぜん文化村で行われ、森西会長・町野副会長・樋口副会長・事務局の4名で参加させていただきました。議題としましては、平成30年度事業報告（案）並びに収支決算（案）、役員改選（案）、平成31年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について審議され、可決承認されました。次年度の三重県商工会議所女性会連合会総会は、2019年10月25日に熊野市において開催されるということで、上野商工会議所女性会としてもたくさんのメンバーで参加していきたいと思っております。その後、各単会から地域情報等について、それぞれの会長より発表があり、情報交換が行われました。当女性会と致しましても平成31年度も会員の皆様と力を合わせて一緒に活動をしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

青年部だより

3月例会「卒業証書授与式」開催 3月13日(水)

ハイトピア伊賀3階にて3月例会「卒業証書授与式」を開催いたしました。本年度卒業されるのは、長きにわたり上野YEGを支えて下さった方や、在籍した期間は短いものの強烈なインパクトを残した方など、バラエティーに富んだ4名の方々です。

YEGジャンパーの返還、卒業証書・記念品授与に続き、小林会長からの送辞、卒業生1人ずつから答辞

を頂きました。その後、YEGらしく余興を楽しんで頂き、終始笑いの絶えない和やかな雰囲気の中4名の卒業生を送り出すことが出来ました。

多田博典さん、野口徹さん、辻井千太さん、中道登子さん、YEG活動お疲れ様でした。そして、本当にありがとうございました。



卒業生のみなさん



3月例会参加のみなさんと記念撮影

新たな事業創出と承継を支援します

伊賀市起業・事業承継促進事業補助金

支援内容

◇地域と連携した起業支援事業

事業概要：市外の方（個人又は法人）が市内にある空き家・空き店舗（注1）を利用し、市内の団体等（注2）と協働（注3）で新たな事業を創出する場合に支援。

補助対象経費：空き家・空き店舗の改装・改築費、備品費、広告宣伝や商品開発費

補助率：補助対象経費の1/2以内の額

補助限度額：上限300万円・下限50万円

◇起業支援事業

事業概要：市内にある空き家・空き店舗を利用し、新たな事業を創出する取り組みを支援。

補助対象者：起業する方

補助対象経費：空き家・空き店舗の改装・改築費、備品費、広告宣伝や商品開発費

補助率：補助対象経費の1/2以内の額

補助限度額：上限100万円・下限20万円

◇事業承継支援事業

事業概要：市内の事業者が、世代交代を含めた経営革新や事業の改善を行う取り組みを支援。

補助対象者：事業の改善を行う方

補助対象経費：事業所等の改装・改築費・備品費および広告宣伝や商品開発費

補助率：補助対象経費の1/2以内の額

補助限度額：上限40万円・下限20万円

（注1）空き家・空き店舗：市内に存在する現に使用されていない居住用又は事業用の建物をいう。

（注2）市内の団体等：規約を有する組織（例：自治組織・商店街組織・営農組織）や非営利法人（例：NPO法人・組合法人）をいう。

（注3）協働：連携する目的・内容・役割及び開設事業所等の所在地域への貢献について、具体的に明記された協定を締結して事業を行うこと。

事業者の決定 応募申請書類や審査会でのプレゼンテーションにより審査を行い、決定します。

締切日 2019年6月14日（金）まで

問い合わせ 〒518-0873 伊賀市四十九町3184番地

伊賀市産業振興部商工労働課 ☎22-9669

伊賀市ホームページ（<http://www.city.iga.lg.jp>）

消費税軽減税率対策窓口相談等事業

経営計画作成セミナー＆個別相談会開催のご案内

～消費税の軽減税率導入・税率引き上げに備えて営業力を強化するための～

今回の経営計画作成セミナーは、現在公募中の「小規模事業者持続化補助金」にもご活用いただけます。概要や申請に必要な補助事業計画書作成のポイントなどお伝えします。

【セミナーカリキュラム】

- ◇消費税軽減税率制度の説明
- ◇事業継続のための経営計画の重要性
 - ・経営理念の再確認・自社の現状を知る
 - ・事業計画のストーリーについて
- ◇販路開拓等の取組に資する補助金の紹介
 - ・小規模事業者持続化補助金とは
 - ・補助金採択を考慮した経営計画書の作り方

日時 2019年4月18日（木）13時30分～16時30分

会場 上野商工会議所ホール（ハイトピア伊賀3階）

対象 小規模事業者

定員 20名（先着順）

受講料 無料

講師 合同会社マネジメントオフィス・ハシモト
代表社員 橋本大輔氏（中小企業診断士）

※当セミナー受講者限定の『個別相談会』も併せて開催します！

開催日 5月10日（金）・5月13日（月）※開始時刻は後日調整

※詳しくは折込チラシをご覧ください。

申込み 4月16日（火）迄に電話・FAXにてお申し込みください。

主催 上野商工会議所・中小企業相談所

皆様のご協力をお願いします！

高校生のインターンシップ受け入れ事業所募集

伊賀地域の高校生が地元で「働く体験」をします。

【目的】

- ①さまざまな職業を知り、自己の生き方・あり方を考える。
- ②主体的な職業選択能力を身につける。
- ③「働くこと」の尊さや喜び、厳しさを実感する。
- ④社会生活や職業生活に必要な基本的な能力・態度を身につける。
- ⑤望ましい勤労観・職業観を身につける。
- ⑥さまざまな世代の人とのコミュニケーションを通して社会性を身につける。

【実施期間と参加生徒】

1期 8月21日（水）～23日（金）の3日間

*伊賀白鳳高校2年生 生物資源科（1学科 約40名）

11月19日（火）～21日（木）の3日間

*伊賀白鳳高校2年生 機械科・電子機械科・工芸デザイン科・フードシステム科・経営科（5学科 約200名）

2期 10月29日（火）～31日（木）の3日間

*名張高校2年生全員（総合学科 約200名）

3期 12月4日（水）～6日（金）の3日間

*あけぼの学園高校1年生全員（総合学科 約80名）

※詳しくは商工会議所または商工会へお問合わせ下さい。

★2018年度後期市民講座 第5回「忍者の呼吸法」 2月16日(土)

「忍者の呼吸法」要旨

三重大学医学系研究科教授 小森照久

ストレスとは内外からの刺激に対する適応過程であり、生きるために必須であるが、過剰、あるいは持続した反応が問題になる。エネルギーに余裕があれば気分転換、余裕がなければ休養が有効な対処である。敵中の忍者はいずれも行うことが難しい。しかし、忍者は概して長生きであった。その秘密の1つが呼吸法ではないかと考えられる。

忍者の呼吸法では、二重息吹（ふたえいぶき）、逆腹式呼吸、息長（おきなが）が代表的であり、二重息吹は持久力を高める目的で使われる。ストレス対処では息長が重要と思われ、詳しく検討した。息長は呼吸が1分にもおおよぼ遅い呼吸である。息長を行うと、脳波ではリラックスと同時に集中の状態を

示した。心電図の解析では、副交感神経系の働きが高まり、交感神経系の働きが抑制され、リラックスを示した。

さらに、ファンクショナル磁気共鳴画像では、息長によって扁桃体の抑制がみられた。扁桃体は感覚情報によって不安を惹起し、ストレス反応において重要であることがわかっている。息長の効果は扁桃体を介している可能性が示された。

息長を一般人が行うことは困難であるが、呼吸を長めにすることによってリラックス効果がみられることから、今後応用を目指したい。



三重大学国際忍者研究センターだより 11の巻

国際忍者研究センター准教授の高尾善希です。今回は忍者学を研究するようになったきっかけについて、お話ししましょう。

センターの関係の教員でいえば、山田雄司先生は、もともと中世における怨霊の研究者で、『怨霊とは何か』（中央新書）というご著書もあります。吉丸雄哉先生も、江戸文学の研究者で、式亭三馬のご研究をなさっていました。私も、江戸周辺の村や江戸の景観などを研究していました（地域史・民衆史）。つまり、センターの教員3名、いずれも忍者学を研究していたわけではないのです。

私の場合、忍者に興味をもったきっかけは、偶然、徳川幕府伊賀者の松下家文書を発見したことでし

た。それまで、忍者に関心をもったこともなければ、基礎知識もありませんでした。だから、松下家文書についての拙著執筆中、山田雄司先生の『忍者の歴史』（角川書店）には助けられました。忍者学はあまり研究蓄積がありませんでしたので、概ね山田先生のご著書のみですぐに入ることができました。

忍者学といえども、「日本史研究、日本文学研究の中の忍者学」ですから、教員それぞれ自分の研究・勉強の蓄積をふまえて、忍者学を研究しています。

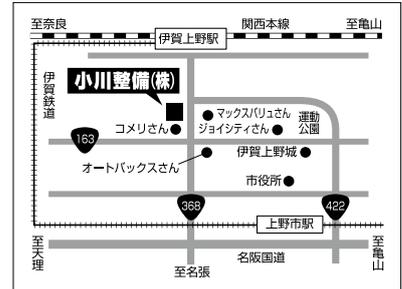


新車・車検・タイヤ・保険・钣金
車に優しい思いやり 愛と誠実

〒518-0825
三重県伊賀市小田町743-2
TEL.0595-23-1531
FAX.0595-23-1772

販売
よろこび
整備
あんぜん
保険
あんしん
リース
しんらい

小川整備(株)
0120-48-1532



簿記検定試験に挑戦してみませんか。 日 商 簿 記

財務が読めれば、会社の経営状態も読める。今や簿記は、財務・経理部門の為の資格だけではなく、部門を超えて全社員が修得すべき教養になりつつあります。即戦力になる資格です。従業員の皆様のスキルアップに、商工会議所検定試験をぜひご活用ください。

第152回	1級～3級	2019年6月9日(日)	申込期間	4月1日～5月10日
第153回	1級～3級	2019年11月17日(日)	申込期間	9月9日～10月18日
第154回	2級～3級	2020年2月23日(日)	申込期間	12月16日～1月24日

※簿記検定はネットからでも受付ます。(https://www.kentei.ne.jp/flow) 別途300円必要です。

平成31年度 商工会議所各種検定試験カレンダー

検定試験名	回	級	試験日
日商簿記	第152回	1～3級	2019年6月9日(日)
	第153回	1～3級	2019年11月17日(日)
	第154回	2～3級	2020年2月23日(日)
リテールマーケティング(販売士) (当会議所では1級試験は実施しません)	第84回	2～3級	2019年7月13日(土)
	第85回		2020年2月19日(水)
そろばん(珠算・暗算)	第216回	1～10級 段位	2019年6月23日(日)
	第217回		2019年10月27日(日)
	第218回		2020年2月9日(日)
カラーコーディネーター (当会議所では1級試験は実施しません)	第46回	2～3級	2019年6月16日(日)
	第47回		2019年12月1日(日)
福祉住環境コーディネーター (当会議所では1級試験は実施しません)	第42回	2～3級	2019年7月7日(日)
	第43回		2019年11月24日(日)
環境社会(eco)	第26回	級の設定 なし	2019年7月21日(日)
	第27回		2019年12月15日(日)

詳しくは、上野商工会議所までお問い合わせください。(TEL 0595-21-0527)



**「万が一」から
我々が守る**

セキュリティシステム
作動中

株式会社 安全警備

- ✖ 防犯カメラ設置
- ✖ イベント警備
- ✖ セキュリティシステム
- ✖ 施設警備業務
- ✖ 防犯対策
- ✖ 保険代理店業務

ご相談・お見積り無料！ お気軽にお尋ね下さい。
三重県伊賀市西明寺2807-1

0595-26-1717 <http://sg-anzenkeibi.jp/>

伊賀^再発見

伊賀連携フィールド2019年度前期

市民講座

忍者 * 忍術学 講座

中・近世 日本各地の忍者たち ハイトピア伊賀3階

入場無料
申込不要

コミュニティ情報プラザホール(伊賀市上野丸之内500番地)

2019.(各日 土曜日 10:30~12:00)

4/20 ⊕ 山田 雄司 三重大学人文学部教授
信州松本藩の忍者

5/18 ⊕ 深川 直也 佐賀戦国研究会
ここまで分かった! 佐賀の忍者史

6/29 ⊕ 桐野 作人 歴史作家・武蔵野大学政治経済研究所客員研究員
戦国島津氏の「忍び」について

7/20 ⊕ 清川 繁人 青森大学薬学部教授
津軽と南部一忍者の系譜をたどる

8/17 ⊕ 長野 栄俊 福井県立図書館 主任(司書)
越前福井藩における忍者の実像

9/21 ⊕ 高尾 善希 三重大学国際忍者研究センター
藤堂藩伊賀者と新発見木津家文書

主催:三重大学伊賀サテライト伊賀連携フィールド
(三重大学人文学部・伊賀市・上野商工会議所)

後援:三重県、公益社団法人三重県観光連盟、伊賀流忍者観光推進協議会、一般社団法人伊賀上野観光協会、
伊賀市商工会、株式会社まちづくり伊賀上野、伊賀市中心市街地活性化協議会、三重大学伊賀研究拠点

お問い合わせ



三重大学国際忍者研究センター

TEL 0595-51-7154 E-mail ninja@rscn.mie-u.ac.jp

知って得するビジネスマナー 「ビジネスで手紙を書くときの留意点」

今や、ビジネスにメールはつきものです。経営者の皆さんも、日々、仕事でメールを数多く送信されているのではないのでしょうか。

メールが普及したことにより、手紙を書いて出す機会はぐんと減りました。しかし、正式なお礼やおわび、お願いなどは、手紙で伝えるのがマナーです。メールに慣れてしまうと、手紙を書いて出すのは緊張して戸惑うところですが、基本的なルールさえ押さえておけば大丈夫です。ビジネスシーンで出す手紙は、会社全体の好感度や信頼度を上げ、イメージアップに一役買います。ぜひこの機会に、手紙の書き方のマナーを習得してみてください。

まず、手紙の構成ですが、「前文」「主文」「末文」「後付け」「副文」の五つの要素から構成されます。前文は、手紙の本文の前、あいさつの部分です。「拝啓」などの頭語から始まり、季節を伝える時候のあいさつなどが入ります。ほかに、自分の近況や、お礼の手紙であれば、ここでまずお礼の一言を伝えます。

主文は、手紙の本文です。末文は、相手を気遣う言葉と「敬具」などの結語から成り立ちます。後付けは、日付・自分の名前・相手の名前で作成されます。相手の名前は、横書きの場合は最初に書きます。また、ビジネスでは、日付に「吉日」は使いません。

副文には、「追伸」など本文に入り切らなかった事柄を書きます。主文の主題と少し外れた内容やプライベートな内容であることが多いので、フォーマルな手紙では書かないのが一般的です。

手紙を書き終えたら、次のポイントは便箋の「折り方」です。和封筒を使う場合は、便箋の下三分の一を上折り上げ、次に上の三分の一を下折りで、三つ折りにします。封筒の裏から見て、手紙の書き出しが右上にくるように入れましょう。洋封筒の場合は、同様に三つ折りにし、入れ方は、封筒の表から見て手紙の書き出しが右下にくるようにします。

封筒の宛名ですが、和封筒の場合、表面は縦書きで、住所は略さずに「〇〇番〇〇号」まで漢数字を用いて書くようにしましょう。裏面には、「メ」「封」などの封字を書きます。また、洋封筒に宛名を横書きする場合は、切手は右上に貼るのがマナーです。この切手の貼り方を間違えている方が多いので、注意してください。

手紙を送るタイミングですが、お礼などビジネスにおける感謝の気持ちは、スピードが重要です。なるべく速やかに送るようにしましょう。おわびの場合もすぐに出す必要がありますが、ポイントは、時候のあいさつは書かず、単刀直入に本題に入ることです。具体的にどう迷惑を掛けたのかということや、先方の善意や理解に感謝していることも伝えましょう。

人財育成トレーナー 美月 あきこ

会員ひろば

掲載事業所募集中!!
あなたの会社やお店をPR致します!!

フラワーブティックこさか

〒518-0865 伊賀市上野魚町2888-6
TEL 0595-23-2516

2/9 伊賀市上野魚町にリニューアルオープンしました。
「花のある暮らしに最高のimaginationを!!」を経営理念に掲げ、日々のお花贈りはもちろん、2階は、自店が行うお花の教室や空いている日をレンタルスペース（平日2000円/1日、土日祝日3000円/1日）として活用しています。

ウインドウの絵は田楨奈緒さんにお願ひし、季節で絵を変えていく予定です。

また、作家さんの作品展示販売を2ヵ月ごとに行い、お花とコラボを考えています。

5月12日は「母の日」です。母の日のご予約受付開始しております。是非、この機会にご来店下さい。



2019年度 会報広告掲載企業を募集します

当所『会報』は、会員をはじめ関係機関、団体等に毎月1,800部を発行します。2019年度の広告掲載を下記のとおり募集しますので、貴社のPRにご活用ください。

会報紙面広告

- 白黒印刷 ○サイズ 4.5cm×17.5cm
- 価格 8,000円 (1回)

チラシ折込サービス

A4版 20,000円 B4、A3 30,000円
会報発行日 毎月5日発行・発行 (1月号は除く)

詳細はお問合せ下さい。総務課 ☎21-0527

〈連休中 4/27(土)～5/6(月)の業務について〉

日頃より、上野商工会議所の事業・運営にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

今般、新天皇の即位日となる2019年5月1日(水)に改元が行われ、「天皇の即位の日及び即位礼正殿の儀の行われる日を休日とする法律」が公布・施行されたことにより、2019年4月27日(土)から5月6日(月)にかけて10連休となります。

これに伴い、まことに勝手ながら、当所の通常業務はこの間休止させていただきますので、ご理解のほどよろしくお願い致します。

なお、連休の前後（特に4月26日(金)、5月7日(火)は窓口や電話対応に混雑が予想され、通常よりもお手続きに時間を要する可能性がございます。極力、当該日程を避けてご来所いただくか、お時間に十分な余裕をもってご来所くださいますようお願い申し上げます。

上野商工会議所 会員の動き

商工業者数	H31年2月末会員数	組織率
2,618件	1,449件 (特別会員90件)	51.9%

もしもの時に・・・お役にたちます！是非この機会にご加入を！

三重県商工会議所連合会

共済増強キャンペーン!! 4/15(月)▶6/28(金)

会員事業所の経営者・役員の皆様の保障や従業員の福利厚生制度にお役立ていただく事を主な目的として、アクサ生命保険(株)と協力し、4月15日(月)～6月28日(金)まで「生命共済制度」「福祉共済制度」加入促進キャンペーンを実施します。

商工会議所職員とアクサ生命保険(株)の担当社員がお伺いした際には、是非ご協力賜りますようお願い申し上げます。

生命共済制度

平成30年7月1日より、ガンや6大生活習慣病の疾病増加に対応する「生存保障」の充実や加入年齢の引き上げといった大幅なリニューアルが実施され保障内容が充実されました。

生命共済の特徴

入院給付金付災害割増特約・ガン重点保障型生活習慣病一時金特約付 定期保険(団体型)
+ 上野商工会議所独自の給付制度(見舞金・祝金制度)

- 1 業務上・業務外を問わず24時間保障
※掛金はAコース1480円/月額から
- 2 毎年収支計算して剰余金があれば配当金も!
- 3 1年自動更新で医師の診査はありません
- 4 商工会議所独自の給付制度が充実しています

ご加入にあたってはパンフレット、重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)を必ずご覧ください。



保障内容(Aコース)		
死	不慮の事故による死亡(死亡保険金+災害保険金)	500万円
	死亡した時(死亡保険金)	100万円
高度障害	不慮の事故による高度障害(高度障害保険金+災害高度障害保険金)	500万円
	障害または疾病による高度障害(高度障害保険金)	100万円
入院・治療	不慮の事故による入院(入院給付金)	1日につき4,000円(1日以上60日限度)
	ガンによる入院(ガン入院一時金)	4万円
	6大生活習慣病による入院(6大生活習慣病入院一時金)	2万円
	ガン治療を直接の目的とした先進医療による療養を受けた時(ガン先進医療一時金)	10万円

※記載の内容は生命共済制度の内容の一部を記載したものです。加入にあたっては、パンフレット・重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)を必ずご覧ください。

問合せ先 上野商工会議所 TEL 0595-21-0527 引受保険会社 アクサ生命保険株式会社 四日市支社津営業所上野分室 TEL 0595-24-1724

おかげさまで
創立70周年  これからも、
がんばる企業を応援します。

 三重県信用保証協会

本店 059-229-6021 (代表)
四日市支店 059-353-9161 (代表)

<http://www.cgc-mie.or.jp/> 


Web Design

ホームページ企画・制作・運営サポート  伊賀市比土 516
デジタル工房 株式会社 ☎ 0595-51-0349

会員増強キャンペーン

未加入事業所をご紹介ください！

上野商工会議所は、地域産業の振興と中小企業の経営支援に取り組んでおり、地域経済の基盤整備と発展のためには、さらなる組織力の強化が必要となります。

皆様方のお取引先やお知り合いに、まだ加入されていない事業所様がいらっしゃいましたら、是非ご紹介を賜りますようご協力の程よろしくお願い申し上げます。

【年会費】 個人 9,000 円から 法人 12,000 円から

～会員メリット～

- ・困ったときに経営相談を受けられます。
- ・金融・税務・労務あらゆる経営に関する相談に無料で応じます。
- ・会社のセミナー・イベントなどで貸会議室・ホール使用の場合は会員価格でご利用いただけます。
- ・労働保険事務の委託をお受けします。
- ・交流の場が広がり、ビジネスチャンスが生まれます！

問合せ先 総務課 TEL 21-0527

4・5月主な事務局行事

- 4月
- 2日・正副会頭会議
 - 5日・東海地区BWC CCI&AXA会議
 - 7日・伊賀の里歴史ウォーキング
 - 8日・女性会親睦委員会
 - 9日・県下専務理事会議
 - 9日・共済キャンペーン進発式
 - 14日・女性会まちづくり委員会
 - 14日・県連会頭会議（熊野）
 - 16日・第61回新規学卒者激励会&セミナー
 - 18日・経営計画作成セミナー
 - 19日・女性会第1回役員会
 - 22日・異業種交流懇談会
 - 28日・青年部NIJJAフェスタ協賛事業
- 5月
- 3日・女性会忍者だんご茶屋開設（ふれあいプラザ）
 - 7日・青年部NIJJAフェスタ協賛事業
 - 7日・キャッシュレス・消費税還元事業セミナー
 - 9日・正副会頭会議
 - 13日・部会長会議
 - 13日・経営計画作成「個別相談会」
 - 14日・サービス部役員会・総会
 - 15日・全国商工会議所専務・事務局長会議（青森）
 - 23日・交通運輸部役員会・総会
 - 23日・県下専務理事会議
 - 27日・異業種交流懇談会
 - 29日・正副会頭会議
 - 30日・企業と高校の採用・就職に関する情報交換会

社会保険相談会

健康保険・厚生年金の

ご相談に応じています

4月3日・19日
5月17日

毎月第1水曜日と第3金曜日

※社会保険相談は午前10時～午後3時までです

今月のおすすめの1冊

『下剋上球児』

菊池高広著 カンゼン 定価1,500円＋税

昨年の夏の甲子園100回記念大会。「日本一の下剋上」という言葉を高らかに掲げて、三重県立白山高校が甲子園初出場を果たしたことは記憶に新しい。

かつては教育困難校として、地域からも疎まれる存在であった白山が、なぜ甲子園に出場出来たのか。東監督の熱意が、生徒を、学校を、そして地域をも変えていく。甲子園までの軌跡もミラクルだが、一冊の本になってしまおうところもまたミラクルだ。

野球エリート常連校の出場が多い中、過疎の町の小さな公立高校への惜しみない大歓声は、テレビを通して震えるほどの感動であった。100回大会という節目に相応しいこの物語を、是非とも読んでいただきたいと思う。



（※おすすめの本は商工会議所にもあります。）



ベストセラー紹介 (コミック・文庫除く)

平成31年3月期 提供 岡森書店 白鳳店

- ① 一切なりゆき
(樹木希林・文芸春秋・800円＋税)
- ② 伊賀百筆 VOL.28
(伊賀百筆編集委員会・1,389円＋税)
- ③ 樹希希林120の遺言
(樹希希林・宝島社・1,200円＋税)
- ④ 妻のトリセツ
(黒川伊保子・講談社・800円＋税)
- ⑤ メモの魔力
(前田裕二・幻冬舎・1,400円＋税)